

2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月27日

上場会社名 エレマテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 2715 URL <http://www.elematec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横出 彰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 深水 正浩

TEL 03-3454-3526

四半期報告書提出予定日 2022年7月27日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	57,629	28.0	2,781	67.0	2,345	46.1	1,552	35.2
2022年3月期第1四半期	45,034	13.5	1,665	111.3	1,605	128.5	1,148	139.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,815百万円 (146.8%) 2022年3月期第1四半期 1,140百万円 (98.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	37.91	
2022年3月期第1四半期	28.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	120,568	60,986	50.6	1,489.43
2022年3月期	115,332	59,645	51.7	1,456.67

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 60,986百万円 2022年3月期 59,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.00		36.00	53.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		27.00		33.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,500	12.4	8,950	7.2	8,650	9.9	6,050	12.6	147.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	42,304,946 株	2022年3月期	42,304,946 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,358,737 株	2022年3月期	1,358,737 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	40,946,209 株	2022年3月期1Q	40,946,273 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、急激な円安進行等の影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和され、個人消費や雇用を持ち直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢の長期化や、世界的なインフレ圧力の更なる上昇等、世界経済の先行きは不透明な状況で推移しました。

エレクトロニクス業界におきましては、一部で半導体等の供給不足や中国のゼロコロナ政策による生産活動の停滞の影響を受け、電子部品の生産はやや鈍化したものの、自動車における電装化の進展や、5G関連及び産業機器等、様々な分野での需要に支えられ、市場規模の拡大が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、自動車向け各種関連部材に注力した販売活動に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比28.0%増の576億29百万円となりました。

営業利益は、売上高の増加に伴い売上総利益が増加したことから、前年同期比67.0%増の27億81百万円となりました。

経常利益は、営業利益が増加したことから、前年同期比46.1%増の23億45百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益が増加したことから、前年同期比35.2%増の15億52百万円となりました。

当社グループの報告セグメントを基にした、当第1四半期連結累計期間における地域別販売状況の概要は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高は、自動車向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比29.1%増の312億7百万円となりました。営業利益は、前年同期比63.3%増の14億52百万円となりました。

(中国)

売上高は、ディスプレイ向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比18.5%増の135億21百万円となりました。営業利益は、前年同期比75.0%増の6億87百万円となりました。

(その他アジア)

売上高は、電子部品向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比23.7%増の92億80百万円となりました。営業利益は、前年同期比22.5%増の4億3百万円となりました。

(欧米)

売上高は、自動車向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比86.2%増の36億19百万円となりました。営業利益は、前年同期比280.6%増の79百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、「受取手形及び売掛金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比4.5%増の1,205億68百万円となりました。

負債は、「支払手形及び買掛金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比7.0%増の595億81百万円となりました。

純資産は、「為替換算調整勘定」が増加したこと等により、前連結会計年度末比2.2%増の609億86百万円となりました。なお、自己資本比率は、50.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より23億39百万円減少し、284億13百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、15億41百万円の支出となりました。主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益が23億45百万円、売上債権の増加による資金流出が16億66百万円、棚卸資産の増加による資金流出が26億93百万円、仕入債務の増加による資金獲得が6億57百万円、法人税等の支払による資金流出が11億19百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億30百万円の支出となりました。主な要因としましては、有形固定資産の取得による資金流出が2億31百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、12億88百万円の支出となりました。主な要因としましては、配当金の支払による資金流出が14億37百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2022年4月22日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,753	28,413
受取手形及び売掛金	61,224	64,806
棚卸資産	15,767	19,338
その他	1,267	1,434
貸倒引当金	△16	△1
流動資産合計	108,996	113,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,212	2,252
減価償却累計額	△1,592	△1,629
建物及び構築物(純額)	620	623
土地	1,110	1,110
その他	4,178	4,624
減価償却累計額	△2,633	△2,929
その他(純額)	1,545	1,694
有形固定資産合計	3,276	3,428
無形固定資産		
ソフトウェア	320	304
販売権	2	1
その他	0	0
無形固定資産合計	323	306
投資その他の資産		
投資有価証券	555	527
繰延税金資産	1,061	1,189
投資不動産	312	310
破産更生債権等	3,341	3,534
退職給付に係る資産	322	316
その他	501	516
貸倒引当金	△3,359	△3,552
投資その他の資産合計	2,736	2,842
固定資産合計	6,336	6,576
資産合計	115,332	120,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,910	50,765
短期借入金	403	697
未払法人税等	1,366	971
賞与引当金	406	514
役員賞与引当金	-	9
その他	4,022	4,899
流動負債合計	54,109	57,857
固定負債		
繰延税金負債	1,210	1,358
退職給付に係る負債	120	126
その他	248	238
固定負債合計	1,578	1,723
負債合計	55,687	59,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	3,335	3,335
利益剰余金	52,296	52,374
自己株式	△694	△694
株主資本合計	57,079	57,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	168
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	2,174	3,469
退職給付に係る調整累計額	200	191
その他の包括利益累計額合計	2,565	3,828
純資産合計	59,645	60,986
負債純資産合計	115,332	120,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	45,034	57,629
売上原価	40,139	51,263
売上総利益	4,894	6,365
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,134	1,224
役員報酬	40	30
運賃及び荷造費	610	677
法定福利費	224	245
旅費及び交通費	61	105
減価償却費	118	131
賞与引当金繰入額	340	370
役員賞与引当金繰入額	9	9
退職給付費用	48	47
貸倒引当金繰入額	△1	△17
その他	642	757
販売費及び一般管理費合計	3,229	3,583
営業利益	1,665	2,781
営業外収益		
受取利息	5	6
貸貸収入	24	21
その他	12	6
営業外収益合計	42	33
営業外費用		
支払利息	6	9
貸貸費用	20	5
為替差損	73	454
その他	2	1
営業外費用合計	102	470
経常利益	1,605	2,345
税金等調整前四半期純利益	1,605	2,345
法人税等	457	793
四半期純利益	1,148	1,552
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,148	1,552

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,148	1,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△21
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	14	1,294
退職給付に係る調整額	△8	△9
その他の包括利益合計	△7	1,263
四半期包括利益	1,140	2,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,140	2,815

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,605	2,345
減価償却費	201	270
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△17
売上債権の増減額 (△は増加)	1,670	△1,666
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△5	1
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,449	△2,693
仕入債務の増減額 (△は減少)	701	657
その他	△109	680
小計	2,612	△421
利息及び配当金の受取額	8	8
利息の支払額	△6	△9
法人税等の支払額	△650	△1,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,963	△1,541
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△148	△231
無形固定資産の取得による支出	△23	△10
投資不動産の賃貸による収入	20	21
その他	2	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149	△230
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△68	233
リース債務の返済による支出	△59	△84
配当金の支払額	△917	△1,437
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,044	△1,288
現金及び現金同等物に係る換算差額	81	721
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	850	△2,339
現金及び現金同等物の期首残高	27,877	30,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,728	28,413

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(ASC第842号「リース」)

当社グループの米国会計基準適用子会社は、当第1四半期連結会計期間の期首より、ASC第842号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則すべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用に伴い、当第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「その他(純額)」に含まれる使用権資産が25百万円、流動負債の「その他」に含まれるリース債務が17百万円、固定負債の「その他」に含まれるリース債務が7百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	24,172	11,413	7,503	1,944	45,034	—	45,034
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,822	2,463	1,971	563	16,820	(16,820)	—
計	35,995	13,876	9,475	2,507	61,855	(16,820)	45,034
セグメント利益	889	392	329	20	1,632	32	1,665

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国(香港を含む)
- (2) その他アジア…韓国、インド、東南アジア等
- (3) 欧米……………米国、メキシコ、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	中国	その他 アジア	欧米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	31,207	13,521	9,280	3,619	57,629	—	57,629
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,689	3,411	2,323	756	21,181	(21,181)	—
計	45,897	16,932	11,603	4,375	78,810	(21,181)	57,629
セグメント利益	1,452	687	403	79	2,622	158	2,781

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国(香港を含む)
- (2) その他アジア…韓国、インド、東南アジア等
- (3) 欧米……………米国、メキシコ、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高（百万円）	11,642	11,345	1,507	24,496
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	45,034
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	25.9	25.2	3.3	54.4

（注）国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……中国（香港を含む）

その他アジア：韓国、インド、東南アジア等

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

	中国	その他アジア	その他	合計
I 海外売上高（百万円）	13,576	12,874	2,495	28,946
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	57,629
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	23.6	22.3	4.3	50.2

（注）国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……中国（香港を含む）

その他アジア：韓国、インド、東南アジア等